

もちろん、そんな馬鹿げた考え方は失敗に終わるしかありません。化学は大変素晴らしいもので、優れた研究者が数多くおられますが、生き物の全てが「分かる」までには果てしない道のりがあります。



京都平安教会での結婚式

癌の研究をしていた先生の熱心な説明や研究が分かれば分かる程、落ち込んでいきました。先生がよく言われていた言葉「全てが謎だ」という意味が少しずつ分かってきました。化学者達がやっている研究等は私達の生活に欠かせないものです。しかし、ここでようやく気付いたことは、自分は化学者になる為に勉強し続けていたというより、神様の「生」の神秘を奪い、自分の手中に納める為にこの道に入って来たということでした。この傲慢な目的の為の研究は、結局は無駄ばかりの迷い道でした。

そこで教会を通して道を見つけられない、化学を通して神をみつけれない私は、とことん落ち込んでしまいました。そんなある日、夜中に自分の暗い部屋の中で座って悩んでいた時、不思議な現象が起こりました。一気に部屋中が明るくなり、電球ごときの明るさではなく、周りの物がそのまぶしさで見えなくなるほどの明るさに覆われました。そして、深い幸せが広がり、心の中から全ての悩みが消えた一瞬でした。それが、何であるかを考える必要はなく、それは神様が一緒におられることだと分かりました。

あなたは私に、いのちの道を知らせてくださいます。あなたの御前には喜びが満ち、あなたの右には、楽しみがとこしえにあります。
詩篇 16:11

私が教会で神を探していた時も、化学の実験室で神を探していた時も、どんな時でも神は、私と共におられたということ

に気が付きました。翌日、大学へ行き、化学のコースを止めました。優れた道ではありますが、私の進む道ではないと分かったからです。大学を一からやり直すことにし、文学部に入り直し、毎年夏に、3年続けて日本語の集中コースを受け、徐々に日本語の知識が付いていきました。

卒業後は日本へ行き、最初は東京の古美術商の弟子として働きました。そのうち骨董屋から研究職になり、今ではチューリッヒ大学で日本の美術や文化を教えています。くにやくにやと曲がりくねった道ですが、私がどの道を選んでも、神様は私と共におられるお方です。

今こうして教職に就いた私も、父や祖父がしてきたように、西洋と日本との間に立ち、何か神様のお役に立てることを探しています。その御旨が分かる日が来ることを信じて、日々この道を歩んでいます。



母の80歳の誕生日に、妹インガー、兄エリック

その道中、神様は私に素晴らしい仲間を与えて下さいました。最初は、最高のパートナーである千香子が妻になってくれ、あっという間に五人の子供達にも囲まれています。父から習ったこと、自分で経験したこと、結局は全て神様が用意して下さいました導きです。まだまだ未熟なクリスチャンですが、これからも神様が示された道に従って生きていきたいと思えます。



愛する家族と。自宅近くのグライフェン湖にて。



家族とともに遠足。アッペンツェルにて。